

学期	月	単元名	配当時間	学習内容	各单元における観点別評価規準			
					評価規準・評価場面			
					音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
1	4	歌詞の内容や曲想を味わいながら表現を工夫して歌おう 「校歌」「Blieve」「翼をください」「浜辺の歌」	5	・歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現したい思いや意図をもって歌うことができるようとする。	A: 表現・歌唱 ◆歌詞の内容(歌詞の言葉や意味、歌詞が表す情景や心情、歌詞の成立の背景など)や曲想(その音楽固有の表情や味わいなど)に関心をもち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	A: 表現・歌唱 ◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、歌詞の内容や曲想を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	A: 表現・歌唱 ◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、歌詞の内容や曲想を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	B: 鑑賞 ◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽表現するために必要な技能(発声、言葉の発音、呼吸法、身体の使い方、読譜の仕方など)を身に付けて歌っている。
	5	音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴こう 「春 第一楽章」		・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取って聴くことができるようとする。	◆曲種に応じた発声、言葉の特性に關心をもち、それを生かして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ◆声部の役割と全体の響きに關心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取って聴くことができるようとする。	◆曲種に応じた発声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。 ◆声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。	◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取って聴くことができるようとする。
	6	旋律のまとまりと構成を理解して旋律を作ろう 「主人は冷たい土の中に」「ここが分かれればGrade up！」	2	・音楽を形づくっている要素を知覚し、音楽の構成を理解して表現を工夫ができるようとする。	◆曲種に応じた発声、言葉の特性に關心をもち、それを生かして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取って歌うかについて思いや意図をもっている。	◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取って歌うかについて思いや意図をもっている。	◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取って歌うかについて思いや意図をもっている。
	7	混声三部合唱をしてみよう 「マイバラード」「各クラス選択曲」		・歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現したい思いや意図をもって歌うことができるようとする。 ・曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うことができるようとする。 ・声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うができるようとする。	評価の資料 ・授業中の活動の観察 ・ワークシート ・自己評価カード	評価の資料 ・授業中の活動の観察 ・ワークシート ・自己評価カード	評価の資料 ・授業中の活動の観察 ・期末考査 ・実技テスト ・ワークシート ・自己評価カード	評価の資料 ・授業中の活動の観察 ・期末考査 ・実技テスト ・ワークシート ・自己評価カード
1 5 2	7 10	混声三部合唱をしてみよう 「マイバラード」「各クラス選択曲」	12	・歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現したい思いや意図をもって歌うができるようとする。 ・曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うができるようとする。 ・声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うができるようとする。	A: 表現・創作 ◆言葉や音階などの特徴に關心をもち、音楽表現を工夫して簡単な旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。 ◆音素材の特徴、反復、変化、対照などの構成に關心をもち、音楽表現を工夫しながら音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。	A: 表現・創作 ◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、言葉や音階などの特徴を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。	A: 表現・創作 ◆言葉や音階などの特徴を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて旋律をつくりている。 ◆反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて音楽をつくりている。	B: 鑑賞 ◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、音楽を形づくっている要素や構造とのかかわりを理解して、解釈したり価値を考えたり、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
	9	歌唱表現の特徴を感じ取って聴こう 「魔王」		・歌唱表現の特徴を感受できるようとする。 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受できるようとする。 ・要素や構造と曲想との関わりを感じ取って聴くができるようとする。	評価の資料 ・授業中の活動の観察 ・ワークシート	評価の資料 ・授業中の活動の観察 ・ワークシート ・発表	評価の資料 ・授業中の活動の観察 ・ワークシート ・自己評価カード	評価の資料 ・授業中の活動の観察 ・ワークシート
2	11	アルトリコーダーを演奏しよう 「喜びの歌」「かっこう」「聖者の行進」「オーラ リー」「アニーローリー」	5	・アルトリコーダーの特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付けて演奏できるようとする。	A: 表現・器楽 ◆曲想に關心をもち、音楽表現を工夫して演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 ◆アルトリコーダーの特徴に關心をもち、基礎的な奏法で演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	A: 表現・器楽 ◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	A: 表現・器楽 ◆アルトリコーダーの特徴をとらえた音楽表現をするために必要な、基礎的な奏法などの技能を身に付けて演奏している。	評価の資料 ・ワークシート
	12	音色や奏法を工夫してアルトリコーダーを演奏しよう 「夢の世界を」		・旋律から生み出される曲想を感受できるようとする。 ・歌唱や曲想に合った奏法を選択し、表現を工夫できるようとする。	評価の資料 ・授業中の活動の観察 ・ワークシート ・自己評価カード	評価の資料 ・授業中の活動の観察 ・ワークシート ・自己評価カード	評価の資料 ・授業中の活動の観察 ・実技テスト ・期末考査	評価の資料 ・ワークシート ・期末考査 ・授業中の活動の観察 ・自己評価カード
3	1	日本の伝統楽器の基礎的な奏法を身に付けよう 「たこたこあがれ」「ほたるこい」	4	・日本の伝統楽器の特徴を捉え、基礎的な奏法を身に付けて演奏できるようとする	A: 表現・歌唱 ◆歌詞の内容(歌詞の言葉や意味、歌詞が表す情景や心情、歌詞の成立の背景など)や曲想(その音楽固有の表情や味わいなど)に關心をもち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	A: 表現・器楽 ◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	A: 表現・器楽 ◆アルトリコーダーの特徴をとらえた音楽表現をするために必要な、基礎的な奏法などの技能を身に付けて演奏している。	B: 鑑賞 ◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。
	2	箏と尺八の特徴を感じ取って聴こう 「六段の調」「巣鶴鈴幕」	3	・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受できるようとする。 ・我が国の音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて聞くができるようとする。	◆曲種に応じた発声、言葉の特性に關心をもち、それを生かして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ◆声部の役割と全体の響きに關心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意団をもっている。	◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意団をもっている。
	3	感謝の気持ちを合唱で届けよう 卒業式で歌う曲 君が代 など		・歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現したい思いや意図をもって歌うができるようとする。 ・曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うができるようとする。 ・声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うができるようとする。	評価の資料 ・授業中の活動の観察 ・ワークシート	評価の資料 ・授業中の活動の観察 ・ワークシート ・自己評価カード	評価の資料 ・授業中の活動の観察 ・期末考査	評価の資料 ・授業中の活動の観察 ・期末考査 ・ワークシート
配当合計時数 45					評価の資料 ・授業中の活動の観察 ・ワークシート	評価の資料 ・授業中の活動の観察 ・ワークシート ・自己評価カード	評価の資料 ・授業中の活動の観察 ・期末考査	評価の資料 ・授業中の活動の観察 ・期末考査 ・ワークシート